

るり溪高原温泉
国民保養温泉地計画書

平成 30 年 8 月
環 境 省

— 目 次 —

1. 温泉地の概要 p. 1-2
2. 計画の基本方針 p. 3
3. 自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全等に関する方策 . p. 3-5
4. 医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師の
配置計画又は同医師との連携のもと入浴方法等の指導ができる人材
の配置計画若しくは育成方針等 p. 5
5. 温泉資源の保護に関する取り組み方針 p. 6
6. 温泉を衛生的に良好な状態に保つための方策 p. 7-8
7. 温泉地の特性を生かした温泉の公共的利用増進に関する方策 p. 8-11
8. 高齢者、障害者等に配慮したまちづくりに関する計画 p. 11-12
9. 災害防止対策にかかる計画及び措置 P. 12

〈添付資料〉

1. 国民保養温泉地位置図
2. 国民保養温泉区域図

1. 温泉地の概要

南丹市は京都府のほぼ中央部に位置しており、北は福井県や滋賀県、南は兵庫県や大阪府、西は綾部市や京丹波町、東は京都市や亀岡市に接し、面積は 616.40 km²で、京都府の 13.4%を占める大きな市である。

その中でるり溪高原温泉は市内の南東部、園部町大河内にありその面積は約 170ha である。

るり溪谷は園部町大河内の榎集落付近から通天湖(つうてんこ)に至る園部川上流約 4km にわたって高原状の山地にできた浸食谷であり、国の史跡名勝天然記念物や府立自然公園に指定されている。

標高は約 500m、るり溪十二勝と呼ばれる大小さまざまな滝や奇岩、巨岩が点在し、夏にも枯渇することのない清流に両側の四季折々の木々や花が映える。

平成 8 年に「京都府立るり溪自然公園」が環境省の『残したい“日本の音風景 100 選”』に選ばれた。

「るり」とは紫色を帯びた紺色の宝石のことで明治時代、この地に遊んだ群長があまりの美しさに感動して命名したと言われている。



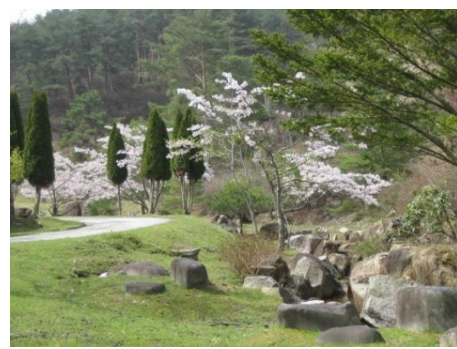
〈るり溪溪流 通天湖〉



〈るり溪溪流 鳴滝〉



〈るり溪高原(深山山頂 791m からの展望)〉



〈るり溪緑と憩いの公園〉

市域の約 80%は山地であるが、全体に山は浅く、桂川(大堰川)とその支流に添って平地が開けている。南部に位置するるり溪高原は、自然あふれる高原リゾートとして広く知られ、京阪神から年間 28 万人の観光客が訪れる。

昭和 57 年に奥るり溪総合開発基本構想を策定し、高原と溪流の自然環境を生かして、近畿圏の近郊保養地として整備を進め、昭和 60 年と平成 8 年に温泉掘削した。これら周辺の良い環境と、効能が顕著で湧出量豊富な温泉の公共的な利用を図る地域として、平成 12 年 5 月、89 カ所目の国民保養温泉地として環境庁（当時）の指定を受けた。

るり溪高原（奥るり溪）には、カナダ・ビクトリア市の「ブッチャートガーデン」をモデルに作られた本格派高原型ガーデン「るり溪緑と憩いの公園」、ボートでトラウトフィッシングが楽しめる「ハミングバード通天湖」、グランピング施設「グラックス」「グラックスHANARE」など、レジャースポットが満載である。



〈心と身体の癒しの森「るり溪温泉」左：グラックストレーラハウス 右：露天風呂〉

【主な経過】

- 1980 年(昭和 56 年) 奥るり溪総合開発基本構想樹立
- 1981 年(昭和 57 年) サイクリングターミナル「こぶし荘」開設（宿泊棟、運動場他）
- 1983 年(昭和 58 年) 勤労者野外活動施設完成（レストラン、テニスコート、ローラスケート場他）
- 1984 年(昭和 59 年) 野外ステージ完成
- 1985 年(昭和 60 年) るり溪温泉採掘成功、奥るり溪温泉開設(こぶし荘)
- 1988 年(昭和 63 年) 京都国体開催（ライフル射撃会場として施設の整備）
- 1988 年(昭和 63 年) るり溪フラワーガーデン開設
- 1994 年(平成 6 年) ネパール友好館「パゴダ」完成
- 1996 年(平成 8 年) るり溪高原温泉の採掘
- 2000 年(平成 12 年) 国民保養温泉地に指定（環境省）
- 2002 年(平成 14 年) 心と身体の癒しの森「るり溪温泉」開業
- 2006 年(平成 18 年) 天体観測施設「遊星館」、ゼロ戦展示施設の開設
- 2011 年(平成 23 年) 京都イルミエールの開催
- 2016 年(平成 28 年) グランピングサイト「GRAX」の開業
- 2017 年(平成 29 年) るり溪温泉リニューアル「ランタンテラス」の開設



〈グランピングサイト「GRAX」〉



〈「GRAX」 HANARE〉

2. 計画の基本方針

この地域には泉質・湧出量ともに優れた2か所の温泉が掘削され利活用されている。湧出量は毎分275ℓ、湧出温度は23～24.2℃。泉質は単純弱放射能冷鉱泉（低張性中性冷鉱泉）、単純放射能温泉（低張性弱アルカリ性低温泉）。ラドン含有量が豊富な名湯で知られる癒し空間「るり溪温泉」は日帰り温泉だけでなく、飲食・宿泊も可能、水着で入れるバーデゾーンや温水プールも備えている。

昭和60年と平成8年に掘削された温泉の適応症は、神経痛・高血圧症・慢性消化器病・筋肉痛・関節痛・うちみ・疲労回復・健康増進などである。

南丹市では、第1次南丹市総合振興計画を策定し、本計画に基づき「自然・文化・人を活かした郷を創る」とし、温泉の活用によりひとを温かく迎える施策を進めてきており、来年度からの次期計画として第2次南丹市総合振興計画を策定したところである。

るり溪高原温泉国民保養温泉地計画では、これらの計画と整合を図りつつ、地域の自然環境・歴史風土、培われてきた文化を踏まえて、温泉資源の保護・活用と自然環境の積極的な活用を図るため、以下の目標を定めて整備と管理運営を行うこととする。

- ①森林や水辺の自然環境を活用した自然とのふれあい、温水プールなどのスポーツ施設を活用した運動療法などを取り入れ、温泉の保健的効能の積極的活用を図る。
- ②歴史・風土に培われた地域文化とのふれあいや自由な交流の拠点づくりを目指す。
- ③地域自然環境の保全・維持とともに地球規模の視点に立った環境保全に通じる資源活用を行う。
- ④充実する地域情報インフラを活用して、医学的な温泉利用・健康増進の指導を行う。
- ⑤市域に集積する高度で幅広い文化・学術・教育と連携した文化リゾートを創出する。
- ⑥地域の農業、地域振興の関係団体とも連携し、大人から子供まで自然体験活動や農村体験活動などを通じて、楽しみながら学び、育める地域密着型の三世代リゾートとして事業展開をしていく。

3. 自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全等に関する方策

(1) 自然景観、まちなみ、歴史、風土、文化等の概要

るり溪温泉は、京都府のほぼ中央部、淀川水系と由良川水系の分水嶺をなす丹波高原の南麓に位置する。京都市からは北西に35km、大阪市からは北に50kmの距離にあり、「るり溪高原」は自然あふれる高原リゾートとして広く知られ、京阪神から年間28万人の観光客が訪れる。

るり溪高原は、園部町の最高峰の深山(みやま)（標高790.5m）を水源とし、南東部に広がり園部川の源となっている通天湖(とうてんこ)から約4kmにわたって続く溪谷は、昭和7年10月に文部省（当時）の史蹟名勝天然記念物に指定され、遊歩道や休憩施設等整備が行われている。

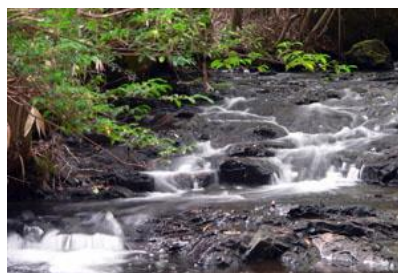
昭和 24 年には約 20ha が京都府立公園に指定された。平成 8 年には環境庁（当時）の『残したい“日本の音風景 100 選”』にも認定されるなど、優れた自然環境を誇っている。周囲は源流の深山（約 791m）、大阪府の剣尾山（784m）、亀岡の半国山（はんごくさん）（774m）の摂丹三山が取り囲みその中央に位置するゴミノ木峠（692m）では、ヒメコマツの群生が見られ、北側には天狗岩（729m）の岩峰がそびえている。これらの山は花崗岩、流紋岩、溶結凝灰岩等の岩石で構成される。渓谷は北向きで、年降水量 1600mm、年平均気温は 13℃で、るり溪特有の植物やキノコも見られる。るり溪兩岸の奇岩（火砕流により形成された石）と点綴する樹林と清流は、大分県の耶馬溪と対比され、この景観こそ「日本庭園の粋をいく渓谷」と激賞され、やがてるり溪は昭和 7 年に丹波唯一の国の指定名勝地となった。

通天湖から大河内榎集落に至る、天引き川に沿う溪流は、瑠璃溪と呼ばれ水晶簾、玉走盤、双龍淵などの景勝が続く。ここには中生代白亜紀に噴出した酸性火砕岩が露出している。瑠璃溪では珍しい岩石として火山豆石凝灰岩が見つかった。瑠璃溪ではほかに双龍淵のあたりで、湖底に堆積したことを示す縞模様のある凝灰岩や直径 1 mm 程度の赤色のザクロ石を含む凝灰岩も見つかった。

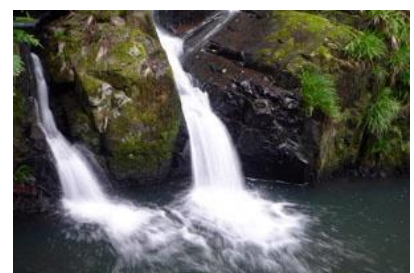
〈るり溪 12 勝〉



〈渴きゆう潤(かつきゆうえん)〉



〈玉走盤(ぎよくそうばん)〉



〈双龍淵(そうりゆうえん)〉

(2) 取組の現状

大阪府、兵庫県方面からの玄関口にあたり古くから多くの人に親しまれている景勝地るり溪高原は、南丹市の「癒しの里山ゾーン」に位置付けられ温泉施設などの整備によって京阪神方面からの来訪客が増加している。

南丹市の森林面積は約 543 km²と総面積の 88%を占めている。豊かな「森」は南丹市の地域特性であり、市民が誇るべき財産である。生態系の保存、水源の涵養、二酸化炭素の吸収といった森林の持つ様々な機能への関心が高まる中、今後は森林の計画的な管理保全対策や、森林を守り育てるという意識を市民のみならず来訪者、都市住民へとつなげていく必要がある。

南丹市に残る豊かな自然を次世代に引き継ぐとともに、地域と事業者が一体となって行うモデルフォレスト活動など、それぞれの役割分担に応じた環境保全活動や美化活動に取り組み、人と自然が共生し、公害のないきれいな環境が維持されるまちづくりを進めている。



〈癒しの里山ゾーン〉

(3) 今後の取り組み方策

森林の適正な管理や河川の環境整備を、公園管理をしている京都府南丹土木事務所・るり溪観光協会と市の協働で進める。自然環境の調査を進めるとともに、希少生物やその生息環境を守るため、地元の本梅探友会が溪流沿いの樹木に看板をつけるの作業などの取り組みを進め、るり溪温泉ではホテル見学、カブトムシ広場、また、るり溪ファーム田んぼ一口オーナーに会員登録をしてもらい、田植えからお米の受け渡しまで一連の農作業体験などの自然環境、生態系、景観の保全PRに務める。農業においては環境に配慮した施策を推進し農業による水環境への負荷を低減する取り組みを進める。

森林の様々な機能が発揮されるよう、林業振興のための支援、適正な管理及び無秩序な開発の規制などを行い、豊かな森林の保全を図るとともに、森を活用したものづくりの取り組みなど、伝統的に受け継がれてきた技術を生かした仕事づくりを進める。また、森の体験事業、都市と農村の交流事業、エコツーリズムの推進、モデルフォレスト運動などを通じて、豊かな自然環境に関わる歴史・伝統とともに新たな価値を創造する取り組みを進める。

るり溪高原は大阪府、兵庫県方面からの玄関口にあたり、古くから多くの人に親しまれている温泉施設などの整備によって京阪神方面からの来訪客が増加しており、正月の餅つきイベント、小正月のとんど祭り、ホテル見学、秋から冬のイルミネーションなど四季を通じて楽しめる自然と温泉を生かした、観光とリクリエーションを中心とした地域整備を進める。

4. 医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師の配置計画又は入浴方法等の指導ができる人材の配置計画若しくは育成方針等

(1) 医師または人材の配置の状況

るり溪高原温泉では、医学的立場から健康管理について指導や、入浴客の体調不良に対する医師を配置しており、その氏名及び活動の状況等は、以下のとおりである。

①医師

| 氏名 | 専門分野 | 活動内容 | 配置年度 |
|--------------|------------|-------------------|----------------|
| 奥井医院 奥井雅憲 | 内科, 消化器科 | 入浴客の体調不良に対応 | 平成 24 年 1 月 |
| | 放射線科 | 指定産業医 | |
| | 整形外科 | 毎月 1 回 施設内にて指導・助言 | |
| | リハビリテーション科 | | |

(2) るり溪温泉では、健康増進及び疫病予防対策など入浴方法等の指導を行う人材として温泉入浴指導員等の育成、配置に取り組み、医師との連携した健康指導等にも努めていく。

5. 温泉資源の保護に関する取組方針

(1) 温泉資源の状況

るり溪高原温泉における温泉資源の状況は、以下のとおりである。
 泉質は単純弱放射能冷鉱泉と単純放射能冷鉱泉の2つの源泉を利用し、旅館、公衆浴場に利用されている。

| 源泉名 | 温度 ℃ | 湧出量 ℓ/min | 泉 質 | 湧出 状況 | 所有者 | 利用施設 |
|-------------|---------|--------------|-------------------------------|----------|-------------------|-------------|
| 奥るり溪 温泉 | 14.2 | 114 | 単純弱放射能冷鉱泉 (低張性中性冷鉱泉) | 動力 揚湯 | 公益財団法人 園部町振興公社 | るり溪温泉 本館 |
| るり溪 高原温泉 | 23.0 | 169 | 単純放射能冷鉱泉 (低張性 アルカリ性冷温泉) | | | |

(2) 取組の現状

るり溪高原温泉における各源泉について、現在講じているその保護に関する取組の状況は、以下のとおりである。

| 源泉 | 取組み | 実施主体 |
|-------------------|--|-------|
| 奥るり溪温泉 るり溪高原温泉 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎日のルーティーンにて源泉湯質量、泉温を確認。 年1回の報告義務。 ・毎日のルーティーン点検(泉温度・設備) | 施設事業者 |

(3) 今後の取組方策

るり溪高原温泉において、2つの温泉資源の保護を一層推進するため、実施主体と調節の上、日常の設備機械の管理・配管を毎日点検し、老朽化したものについては早期交換を行って衛生管理の意識取組み向上取組を進める。

6. 温泉を衛生的に良好な状態に保つための方策

(1) 温泉の利用に当たっての関係設備等の状況

るり溪高原温泉において温泉の利用に当たって使用している設備及び温泉利用の状況は、以下のとおりである。

なお、るり溪高原温泉では、温泉は浴用利用のみとなっている。

| 温泉地 | 源泉数 | 浴用利用施設までの設備 | 浴用利用 |
|---------|-----|--|------|
| るり溪高原温泉 | 2 | 引湯管・貯湯槽・ガスセパレーター・バコティンヒーター(ボイラー)・源泉水質検査(水素イオン濃度・濁度・色度・過マンガン酸カリウム消費量・大腸菌群・一般細菌・レジオネラ属菌・遊離残留塩素・総残留塩素)年4回 | 1施設 |

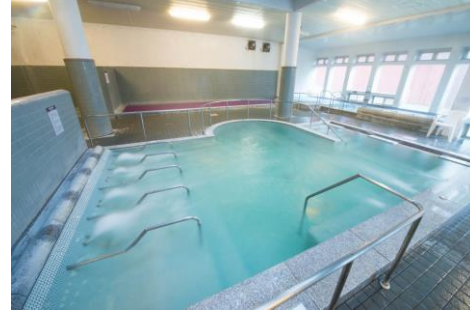
(2) 取組の現状

るり溪高原温泉において温泉の利用に当たって使用している設備について、現在講じている衛生面での取り組みの状況は、以下のとおりである。

| 設備 | 区分 | 取組 | 実施主体 |
|-------|-----|--|-------|
| 源泉 | 自主的 | 第一源泉においては初期汲み上げ時、40分以上外部放出(濁り等除去) | 施設事業者 |
| 引湯管 | 自主的 | 毎月の貯湯清掃時にポンプ圧を強力にして、パイプ内を洗浄実施。 | |
| 送湯ポンプ | 自主的 | 適宜点検。必要に応じて修理。 | |
| 貯湯槽 | 自主的 | 源泉用貯湯は毎月1回の清掃と換水実施。 | |
| 浴槽 | 府条例 | 各浴槽においては循環ろ過装置にて清澄処理。 週に1回は各ろ過装置を清掃実施。 レジオネラ属菌の対応は塩素自動注入器にて処理。 毎日4回の残留塩素を測定して維持管理。 年に2回レジオネラ属菌の検査実施。 | |
| 周辺設備 | 自主的 | 毎日地下設備他、作業場の清掃と衛生管理を行う。 適時、外部の除草作業。 | |
| 各施設 | 府条例 | 毎日1回以上の浴槽の換水洗浄。 毎週1回以上の循環ろ過水の完全換水。 毎年1回の水質検査。 | |
| | 自主的 | 毎日1回以上の浴槽の消毒、消毒装置の確認。 毎週1回以上のろ過装置の清掃、回収槽の清掃。 毎月1回以上の循環系統の清掃。 | |



〈大浴場〉



〈バーディゾーン〉

(3) 今後の取組方策

るり溪高原温泉において、さらに温泉を衛生的に良好に保つため、実施主体と調節の上、(2)の取組を継続するとともに、それらに加え、第三者による衛生点検を実施することで、更なる衛生管理の意識を図る取組みを進める。

7. 温泉地の特製を活かした温泉の公共的利用増進に関する方策

(1) 温泉の公共的利用の状況

近年のるり溪高原温泉における利用状況は、以下のとおりです。

① 過去3年間の温泉の利用者数

(単位:人)

| 温泉地 | 区分 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
|-------------|----|---------|---------|---------|
| るり溪 高原温泉 | 宿泊 | 20,492 | 20,195 | 37,313 |
| | 日帰 | 228,542 | 239,874 | 208,949 |
| 合計 | | 249,034 | 260,069 | 246,262 |

② 直近1年間(平成28年度)の温泉の利用者数

(単位:人)

| 温泉地 | 区分 | 施設数 | 総定員 | 利用者数 | | | | |
|-------------|----|-----|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 |
| るり溪 高原温泉 | 宿泊 | 4 | 360 | 1,377 | 1,477 | 1,535 | 4,100 | 6,065 |
| | 日帰 | 1 | — | 16,191 | 19,730 | 15,184 | 18,313 | 26,012 |
| 合計 | | | 360 | 17,568 | 21,207 | 16,719 | 22,413 | 32,077 |

| 利用者数 | | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| 4,440 | 4,213 | 3,905 | 3,116 | 2,105 | 1,788 | 3,192 | 37,313 |
| 17,535 | 16,253 | 16,276 | 18,854 | 15,394 | 13,227 | 15,980 | 208,949 |
| 21,975 | 20,466 | 20,181 | 21,970 | 17,499 | 15,015 | 19,172 | 246,262 |

(2) 取り組みの現状

① 施設整備

るり溪高原温泉において、多様な温浴施設や水着着用でプールや温泉が楽しめるバーベキュー、プラネタリウム施設や、バーベキュー施設など様々なテーマパークを含めた高原全体の活性化により、「三世代リゾート目指して」公共的利用の増進を幅広く図るため、行っている取り組みの状況は、以下のとおりである。

| 温泉地 | 取組 | 実施主体 |
|-------|----------------------------|-------|
| るり溪温泉 | 駐車場の拡張整備。 | 施設事業者 |
| | ヴィラで過ごす新しいアウトドアスタイルの宿泊施設 | |
| | 「ポテポテパーク」施設整備。 | |
| | 「高原バーベキュー」施設整備。 | |
| | 気軽に手ぶらで楽しめるキャンプ施設「GRAX」の整備 | |
| | 天体観測施設「遊星館」(観測とプラネタリウム) | |
| | ネパール友好館 | |



〈ネパール友好館〉



〈高原バーベキュー〉



〈天体観測施設「遊星館」〉

② イベント等

るり溪高原温泉において、温泉施設や関係施設の公共的利用の増進を幅広く図るため、各種の体験参加型のイベント等を実施している。

| 取組内容 | 実施主体 |
|--|------------------|
| 【餅つき会】 お正月のご利用に感謝して、ご来場者への振舞いイベント。 | るり溪温泉 |
| 【るり溪「とんど祭り」】 小正月に注連縄・門松などの正月飾りを焚き上げ、無病息災・厄除けなどを祈願します。また、参加者には、ぜんざいなどをふるまい。 | るり溪温泉 |
| 【るり溪ファーム「田んぼ一口オーナー」】 園部町農業推進実行委員会と共催の体験イベントで、田植え・稲刈りなど参加いただきお米や浴場券などをセットしたイベントの開催。 | るり溪温泉 園部町農業公社 |

| | |
|---|-------------------|
| 【ホテル狩りイベント開催】 園部町法京(園部川付近)への無料送迎バスによるホテル見学ツアーの開催。 | るり溪温泉 |
| 【カブトムシ広場】 子供たちが増える夏休みのカブトムシ捕り体験と世界のカブトムシ展を開催。 | るり溪温泉 |
| 【星をもとめて in るり溪】 定期的に星空・太陽観測会のイベントの開催。 | 「星をもとめて」 実行委員会 |
| 【キャンドルナイト】 キャンドルイベントとして施設内で幻想的な夜を演出。(カメヤマロウソク協賛) | るり溪温泉 |
| 【イルミネーションイベント】 広大な施設内で、冬のイルミネーションイベント「京都イルミエール」を開催。 | るり溪温泉 |
| 【農村収穫体験】 地域の特産農産物等の収穫体験と食育の育成 | るり溪温泉 園部町農業公社 |



〈るり溪 とんど祭り〉



〈るり溪ファーム 稲刈り体験〉



〈カブトムシ広場〉



〈キャンドルナイト〉



〈京都イルミエール〉



〈農村収穫体験 栗拾い〉

(3) 今後の取組方策

るり溪高原温泉において、地域住民から親しまれる取り組みや、さらに温泉の公共利用増進を図るとともに、自然環境の保全環境に配慮に努めながら新規活性化を進める。南丹市ならびに京都府とも連携を図り、地域の活性化や産業振興に貢献する

- ①森林や水辺の自然環境を活用した自然とのふれあい、温泉の健康的効能の積極的活用を図る。
- ②プラネタリウム施設や、バーベキュー施設など様々なテーマパークを含めた高原全体の活性化を官民共同のプロジェクトとして進めています。
- ③地域の食文化・自然食材を活かした料理を開発し、健康長寿への取り組みを進める。

8. 高齢者、障害者等に配慮したまちづくりに関する計画

(1) 公共の用に供する施設の状況

るり溪高原温泉における公共のように供する施設の状況は、以下のとおりである。

| 温泉地 | 区分 | 施設 |
|---------|------|---|
| るり溪高原温泉 | 公有施設 | 道路(国道 173 号線、府道 731 号線、国道 9 号線、国道 372 号線、府道 453 号線) 京都府立るり溪少年自然の家 京都府立るり溪自然公園 |
| | 私有施設 | 宿泊施設 3 施設 公衆浴場 1 施設 キャンプ施設 1 施設 カフェ施設 1 施設 バーベキュー施設 1 施設 駐車場 |

(2) 取組の現状

るり溪高原温泉において、高齢者、障害者等に配慮したまちづくりのため、現在行っている取り組みの状況は、以下のとおりである。

| 温泉地 | 区分 | 施設 | 取組 | 実施主体 |
|---------|------|-----|-------------------------------|---------|
| るり溪高原温泉 | 公共施設 | 道路 | 温泉地内道路及び温泉地までのアクセス道路の適切な維持管理。 | 南丹市・川西市 |
| | 私有施設 | 建築物 | 施設内において、施設改修時にスロープ、手すりなどの整備。 | 事業者 |

(3) 今後の取組方策

るり溪高原温泉において、さらに高齢者、障害者等に配慮したまちづくりを図るため、実施主体と調整の上、(2)の取組を継続するとともに、それらに加え、以下の取組を進める。

| 温泉地 | 区分 | 施設 | 取組 | 実施主体 |
|---------|------|-----|--|------|
| るり溪高原温泉 | 民有施設 | 建築物 | 各施設において、スロープ、手すりなど更なるバリアフリー化を検討する。 監視カメラの設置 無料 Wi-Fi の整備 | 事業者 |

9. 災害防止対策に係る計画及び措置

(1) 温泉地の地勢及び災害の発生状況

るり溪高原温泉は園部町最高峰の深山(標高 790m)の南東部に広がる高原にあり(標高 550m)、小さな土砂崩れや冬季の降雪はあるが、大きな災害までは発生してはいない。

(2) 計画及び措置の現状

「日本の音風景百選」に選ばれたるり溪は、重要な役割を果たす森林国の「水の郷百選」にも選ばれている美山川清流、天然記念物オオサンショウウオ、アユモドキやホタル、メダカなどの生物も生息しており、「美しいまちづくり条例等」の取り組みを進めている。

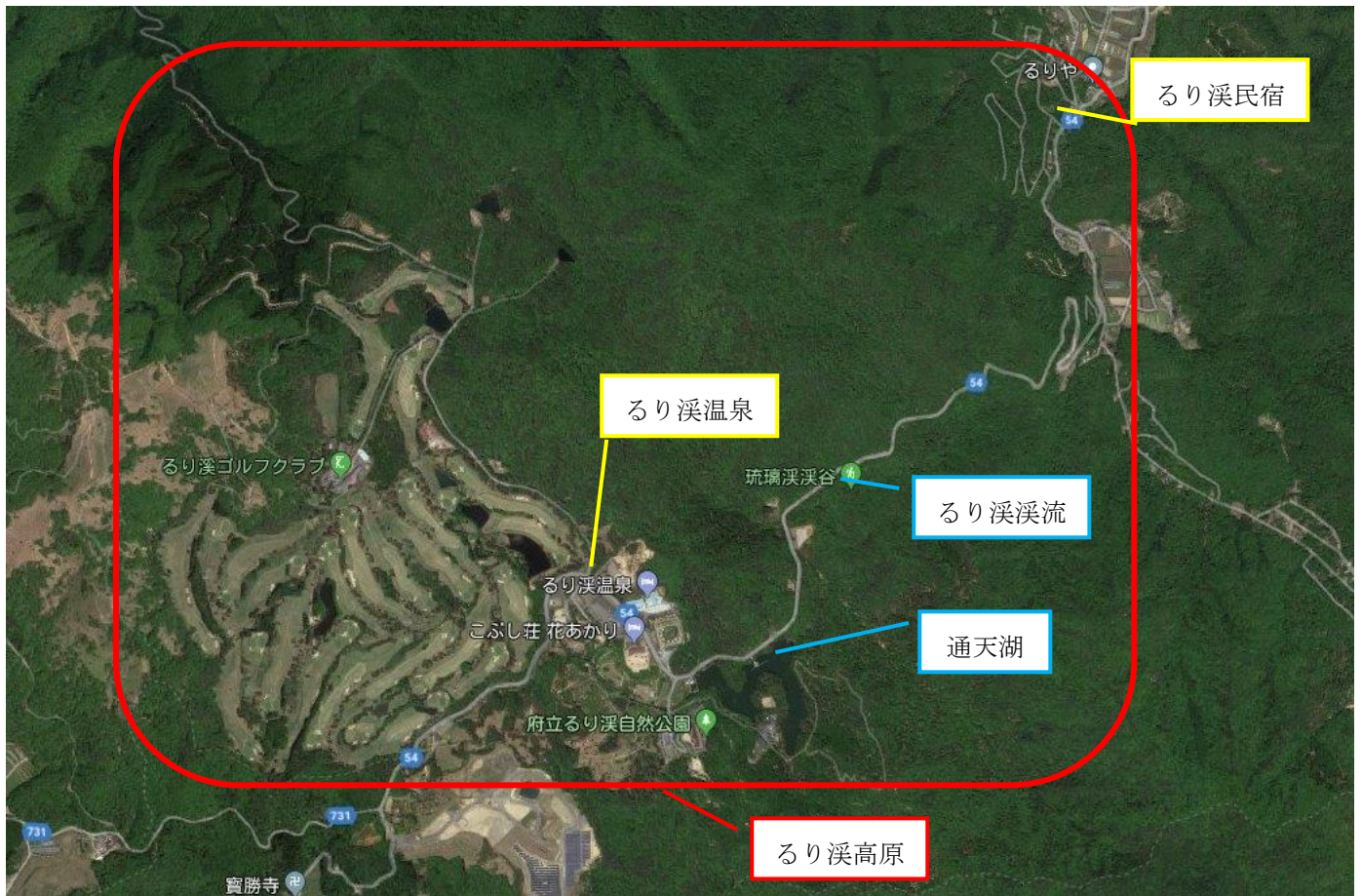
また、市および府の洪水、土砂災害等の災害ハザードマップでも災害指定区域には含まれていないが、防災への対応については、市防災計画とも十分に連携を図りながら、災害防止に向けて取り組みを進めていく。

(3) 今後の取り組み方策

るり溪温泉において、さらに災害の防止を図るため(2)の計画及び条例に基づく取り組みを継続するとともに、官民連携による訓練等に積極的に参加する。

| 温泉地 | 取組 | 実施主体 |
|---------|--|------|
| るり溪高原温泉 | 各施設における災害時の避難誘導計画 施設内の安全確保するため、自主防災組織を検討する。 | 事業者 |

【るり溪高原 航空図】



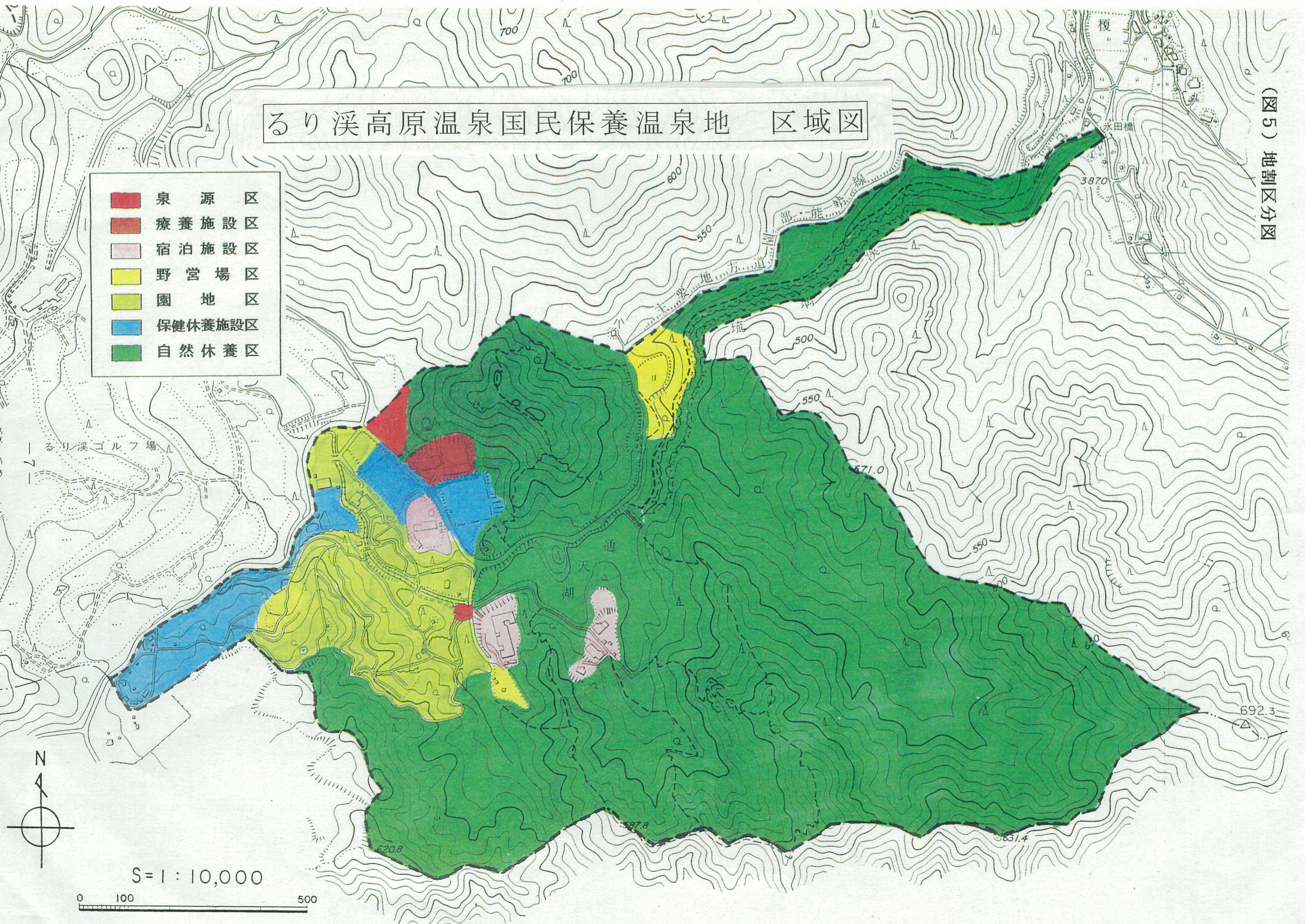
国民保養温泉地位置図



(図5) 地割区分図

るり溪高原温泉国民保養温泉地 区域図

- 泉源区
- 療養施設区
- 宿泊施設区
- 野営場区
- 園地区
- 保健休養施設区
- 自然休養区



S=1:10,000

0 100 500